

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 5 区分
 【発行日】平成29年10月5日(2017.10.5)

【公開番号】特開2016-16848(P2016-16848A)
 【公開日】平成28年2月1日(2016.2.1)
 【年通号数】公開・登録公報2016-007
 【出願番号】特願2014-143253(P2014-143253)
 【国際特許分類】

B 6 2 D 25/08 (2006.01)

【F I】

B 6 2 D 25/08 F

【手続補正書】

【提出日】平成29年8月22日(2017.8.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

車両のエンジンルームと車室とを区画するダッシュパネルを備える車体前部構造において、当該車体前部構造はさらに、

前記ダッシュパネルに車室側から重なって該ダッシュパネルを補強するリンフォースと、

前記ダッシュパネルの車幅方向の両端部に取付けられていて該ダッシュパネルを支持する 2 つのダッシュサイドパネルとを備え、

前記リンフォースは、前記ダッシュサイドパネルに車室側から重なっていて、

前記ダッシュパネルは、車幅方向の車内側に膨出していて車体前輪を収容するホイールハウスを含み、

前記リンフォースの端部は、前記ホイールハウスに車室側から重なっていることを特徴とする車体前部構造。

【請求項 2】

当該車体前部構造はさらに、

前記ダッシュパネルを車室内側に膨出させた第 1 ビードであって、該ダッシュパネルのうち前記リンフォースに重なっている第 1 領域と該リンフォースに重なっていない第 2 領域とを跨いで形成されている第 1 ビードと、

前記ダッシュサイドパネルを車室内側に膨出させた第 3 ビードであって、該ダッシュサイドパネルのうち前記リンフォースに重なっている第 3 領域と該リンフォースに重なっていない第 4 領域とを跨いで形成されている第 3 ビードと、

前記ホイールハウスを車室内側に膨出させた第 5 ビードであって、該ホイールハウスのうち前記リンフォースに重なっている第 5 領域と該リンフォースに重なっていない第 6 領域とを跨いで形成されている第 5 ビードとを備えることを特徴とする請求項 1 に記載の車体前部構造。

【請求項 3】

当該車体前部構造はさらに、

前記ダッシュパネルの第 1 ビードに重なるように前記リンフォースを車室内側に膨出させた第 2 ビードと、

前記ダッシュサイドパネルの第 3 ビードに重なるように前記リンフォースを車室内側に

膨出させた第 4 ビードと、

前記ホイールハウスの第 5 ビードに重なるように前記リンフォースを車室内側に膨出させた第 6 ビードとを備えることを特徴とする請求項 2 に記載の車体前部構造。

【請求項 4】

当該車体前部構造は、前記ダッシュパネルの上端部に車幅方向にわたって重なっていて該上端部から上方に向けて立ち上がるカウルアップパネルをさらに備え、

第 1 ビードは、前記ダッシュパネルと前記カウルアップパネルとが重なる部分まで延びていることを特徴とする請求項 2 または 3 に記載の車体前部構造。

【請求項 5】

前記ダッシュパネルの第 1 領域は、前記リンフォースの上端部と重なる縦壁部を含み、

前記ダッシュパネルの第 2 領域は、前記縦壁部から後方斜め上に傾斜し前記カウルアップパネルの下端部と重なる傾斜部を含み、

第 1 ビードは、前記縦壁部と前記傾斜部とを跨いで形成されていて、

第 2 ビードは、前記縦壁部と重なっていることを特徴とする請求項 3 または 4 に記載の車体前部構造。

【請求項 6】

当該車体前部構造は、車体前輪のサスペンションを支持するストラットタワーの上面を構成するサスペンションアップブラケットをさらに備え、

前記サスペンションアップブラケットは、第 1 ビードと重なるフランジを有することを特徴とする請求項 2 から 5 のいずれか 1 項に記載の車体前部構造。

【請求項 7】

当該車体前部構造はさらに、

前記ダッシュパネルから車両前方に延びる左右一対のサイドメンバと、

前記サイドメンバ間をつなぐように車幅方向に延びていて前記ダッシュパネルの下部にエンジンルーム側から重なるクロスメンバとを備え、

前記リンフォースは、前記ダッシュパネルを介して前記クロスメンバと重なっていることを特徴とする請求項 1 から 6 のいずれか 1 項に記載の車体前部構造。